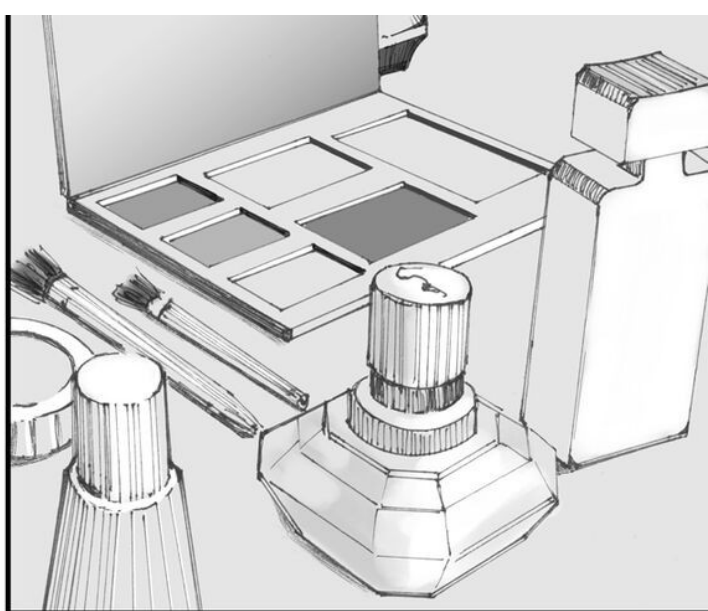
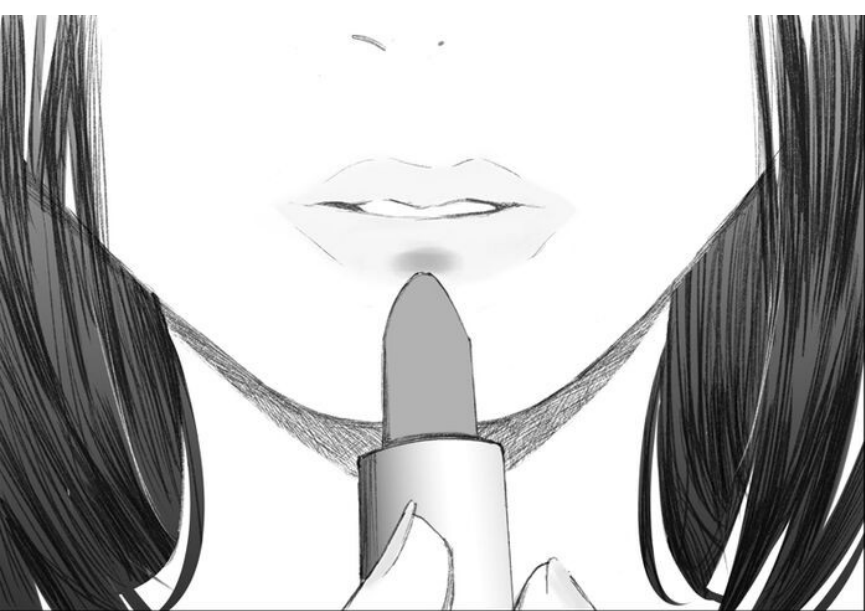




涼一
りょういち

この服どう？

似合ってるかな？

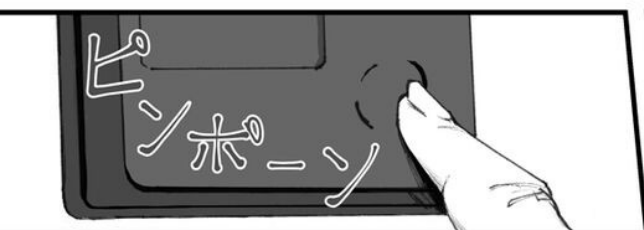
今日、僕の婚約者は

僕以外の男と…

変じゃない？

これから
デートに出かける

変…じゃない…



わからせセックスに堕ちた 婚約者

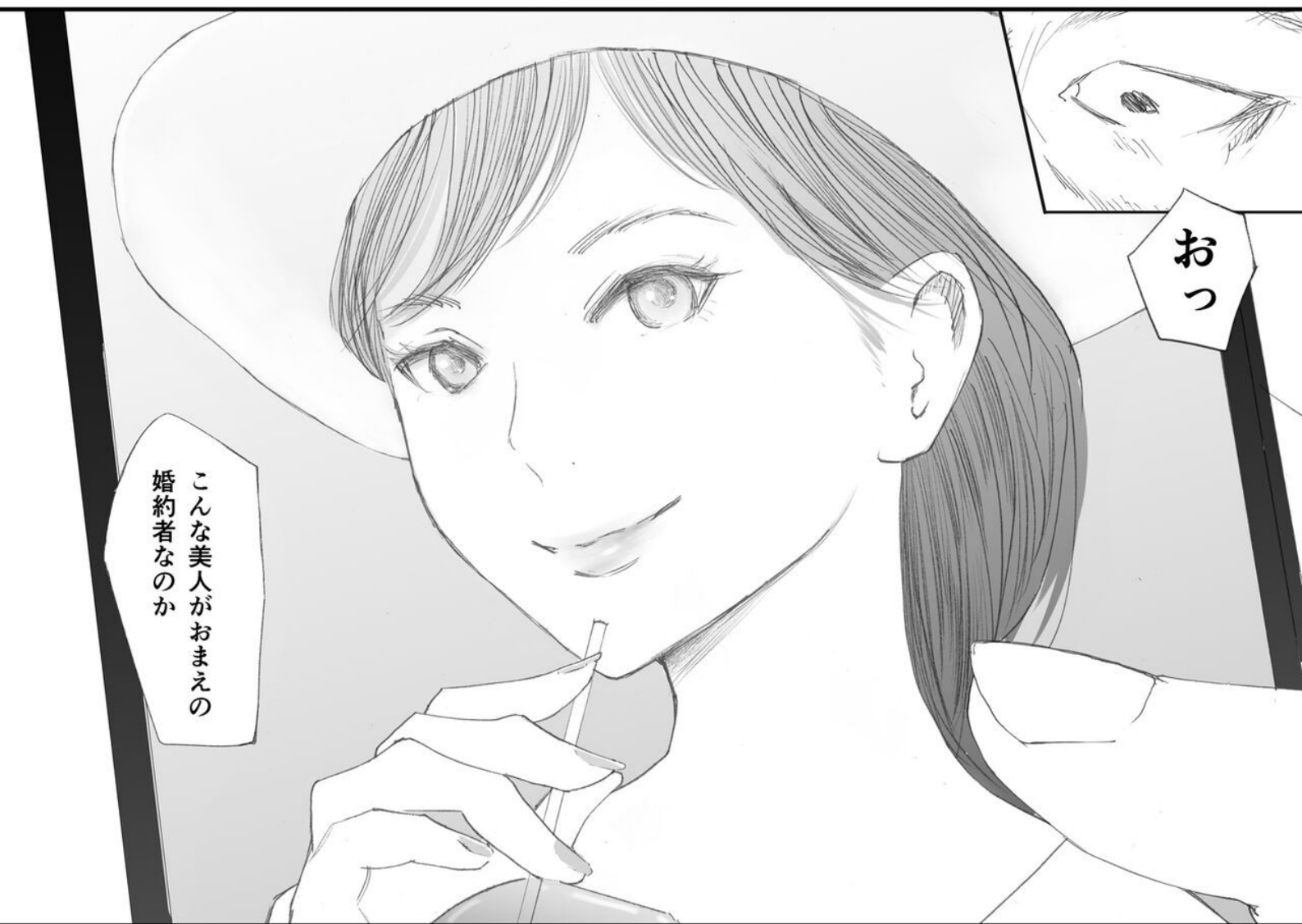
猫目恋

R18
成人向け













え——!?

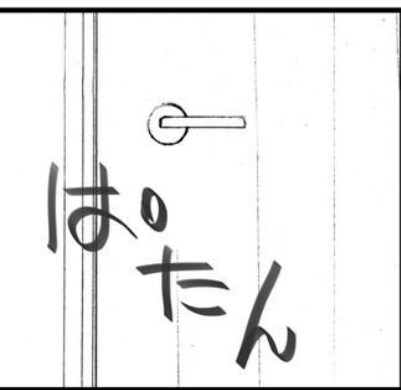
わたしが権藤部長
とデート?

意味わからない
んだけど...

ハイ、お茶

実はさ...









ハモっちゃったね

ふふふ…

あのね
ちょっと考えてみた
んだけど
わたし…



ほんとう？ありがとう
絶対これからの僕たち
のためになるよ！



部長さんとデート
してもいいよ



ちゅ

しかし、僕は美咲に
秘密にしていた
ことが一つあった…



もちろんデートって言ったって
お茶したりご飯食べたりぐらいだからね
美咲が嫌なことはしなくていいんだよ

当たり前でしょ
なに变なこと
言ってるのよ

はは、でもしたい
ことは何をして
もいいからね



契約書…
ですか？

そう。こういうのは
はっきりとルールを
決めておいたほうがいいだろ

契約書

部長室

・この企画は美咲ちゃんが女らしくな
ために行われる

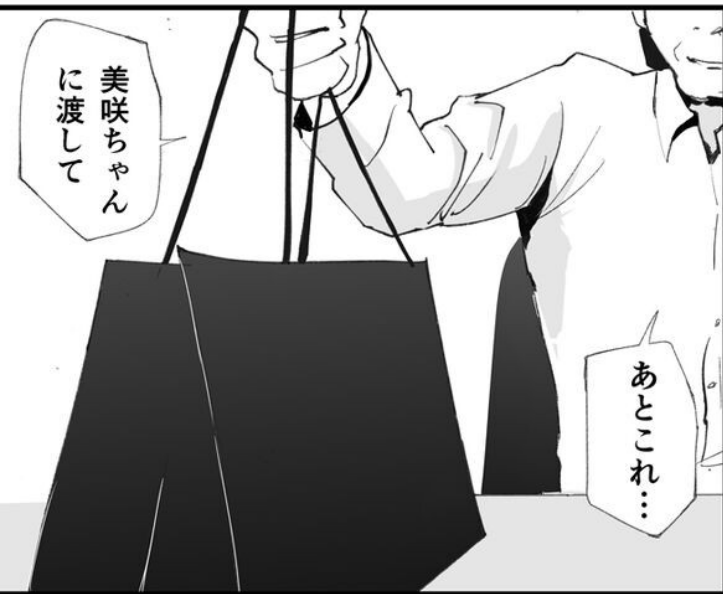
・美咲ちゃんが望むことならば、何で
あっても権藤は行う権利を持つ

・美咲ちゃんも権藤も涼一にデート内容
を秘密にする権利を持つ

・デートの結果について、どんなことでも
涼一は受け入れる義務を持つ

・上記に違反した場合、涼一は権藤に
一億円の賠償金を支払う義務を持つ

署名 権藤 雄一郎
正木 涼一



美咲ちゃん
に渡して

あとこれ…



契約のことは
美咲ちゃんには
秘密にしておけよ

はあ



こうして美咲は
権藤部長とデートする
ことになったのだった

契約書だから
一応ハンコ
押してくれ



身に着けてくるように
言っておいて

俺が美咲ちゃんの
ために選んでおいた
プレゼントだよ



なんですか？



本当にこれでよかった
んだろうか…



じゃあ行ってくるね
用意しておいた
ご飯、食べてね

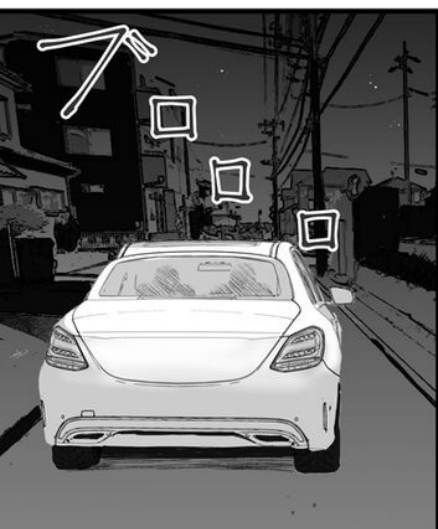


権藤です
美咲ちゃんだね？

いや、絶対よかったんだ
美咲と権藤部長を
信じなきゃ

はい。初めまして

よろしく
部下の婚約者
だから大切に
しなきゃな



千草

さ、行こうか
美咲ちゃん

うわあ…すごい緊張する
涼一以外の男の人と二人きり
なんて最近、全然ないし…

涼一と美咲ちゃんのため
なら上司として俺は一肌
脱ぐよ。まあ気楽にして

それに俺とデートして
みれば逆に涼一のよさが
わかるよ

俺としてもこんな可愛い
子に会えるなんて嬉しいよ
ありがとう

とんでもないです
わたしたちこそ
こんなことお願い
してしまっ…

さ、着いたよ

権藤さんってちょっと
怖い顔だけど優しいそう…







涼一もそういうことを
言ってくれたらいいなあ

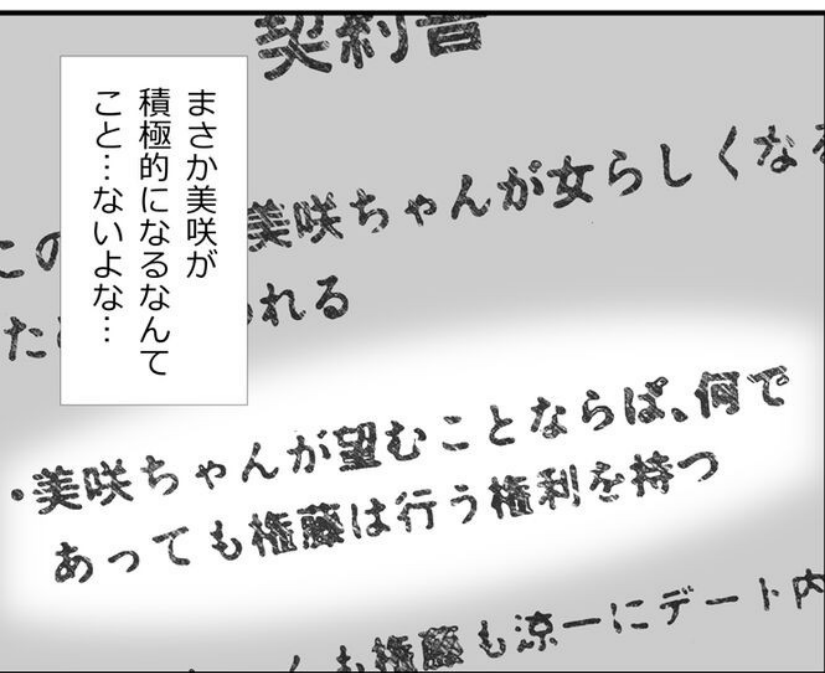
美咲ちゃんが変われば
涼一も変わるはず！

びどっ



今日は本当に
楽しかったよ
俺みたいな男で
よかったら、
いつでも美咲ちゃんに
女を意識することを
教えてあげるよ

ふふ、そういうこと
言われるのすごい
新鮮です…



契約書

まさか美咲が
積極的になるなんて
こと…ないよな…

美咲ちゃんが女らしくな
れる

・美咲ちゃんが望むことならば、何で
あっても権藤は行いう権利を持つ

も権藤も涼一にデート内



部長は強引だから
美咲が嫌がること
してなきやいいけど…

今頃美咲は早く帰り
たがってるんじゃないかなあ



あっ！

カッ

ズッ

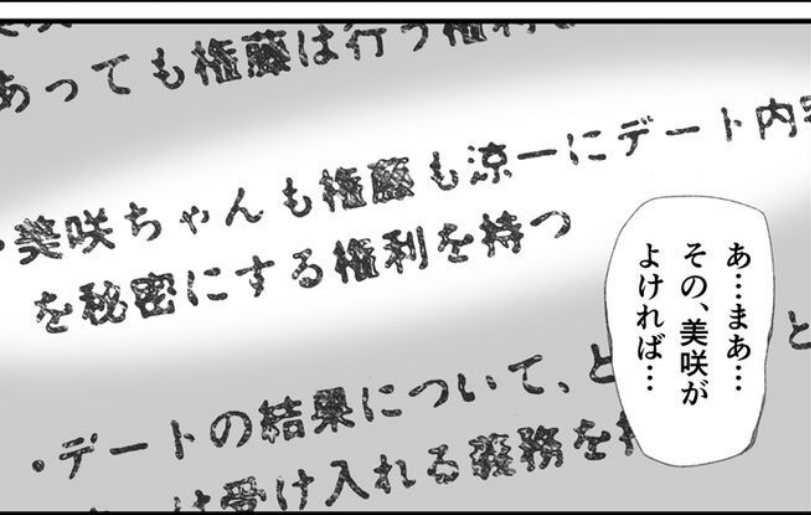


そしてどうすれば美咲ちゃんが
変わるかっていうと…

男の人にすべてを支配
されればいいんですよね
すごい言葉だから
おぼえちゃいました…

はは、美咲ちゃん
は筋がいいな







ね、美咲
エッチしょ？

いいよ

無理…

痛い…

やっぱり

あ…



その夜も最後まで入らなかったけど、いつもより美咲は積極的だった気がする…
こうして、権藤部長とのデートは続くことになった…



そりゃ見たいよ…
美咲のそういう姿は
どんなAV女優より絶対
対セクシーだと思う！



涼一も、わたしが女らしく
すぐくイヤラシイこと
してるの見たいの？

一週間後…美咲と
権藤部長の二回目の
デートの日が来た。

僕たち最高に
お似合いだよな
あとはエッチさえ
うまくいけば…

僕は気付いていなかった…
この時、美咲を引きとめていたら
僕たちの未来は変わっていた
はずだということを…

大丈夫？
イヤじゃない？

僕にわかって
いたのはただ…

美咲が自分の中の
女を意識し始めて
いるってこと

こないだほど
抵抗ないから

ふふ
心配しないで

そしてそれが僕と美咲にとって、
本当に愛し合うために必要だ
ってことだけだった…

わたしは気付いていた…

自分でも知らなかった
わたしの何かが
権藤さんに引き出され
始めているってこと…

来ました…

あの日以来わたしの中から
消えない言葉がある
それは…

それは涼一とわたしに
とって必要なこと
だって信じているけど…

…支配されるって言葉…

入りなさい

ここに来たということは
俺にすべてを支配されることを
美咲は受け入れたということだ

そう…なんですか？

もちろんそう
だよ
たとえ無意識
であっても



何…をですか？



あっ



俺の直感では
今まで美咲は
恐れてきたんだよ

恐れてきた…？



そう、それは美咲が
自分を捨てて体と
心のすべてを男に
与えることだ…



権藤さんの強引さ…どうしてか
わからないけど逆らえない…
不安がないといえばウソになる



男に支配され快楽に
溺れたいという美咲
自身の願望をだ



わたし自身の願望…

でも確かめなきゃ…わたしの
この気持ちがあるのか…



しかし、それは怖い
ことでもあるだろう？
自分がなくなって
しまふみたいで…

だから女は防御本能で
自分の願望を
押し殺すんだ

だがその防御本能を
捨てなければ…

美咲は本当の女
になれないよ

はっ

権藤さんの言葉

体はもう
拒絶してないぞ

すごくスムーズに
心に入ってくる…

あとは美咲の
心の問題だ…

本当の自分を知る
覚悟をするかどうかのな

本当のわたしを知るためには…
きっと権藤さんのすべてを
受け入れなきゃいけない…

ん…涼一より優しい触り方だ…

わたし…
もっとわたし自身の
こと知りたい…

涼一…わたしがこんなこと
までするなんて思ってたない
だろうな
ごめんね、でもこれはわたし
と涼一のためだから

んあ



え…なに？
この大きさ…

それならば…

自分を捨てる気持ちで
奉仕してごらん

ゴキ

ゴキッ

ドクッ

バギ

ドクッ

バギ

ゴキッ



ポツッ

わたしの中にこんな
のが入ってくるの？

「ワイ…でも…」



なんか体が…

熱い…

くちゅ

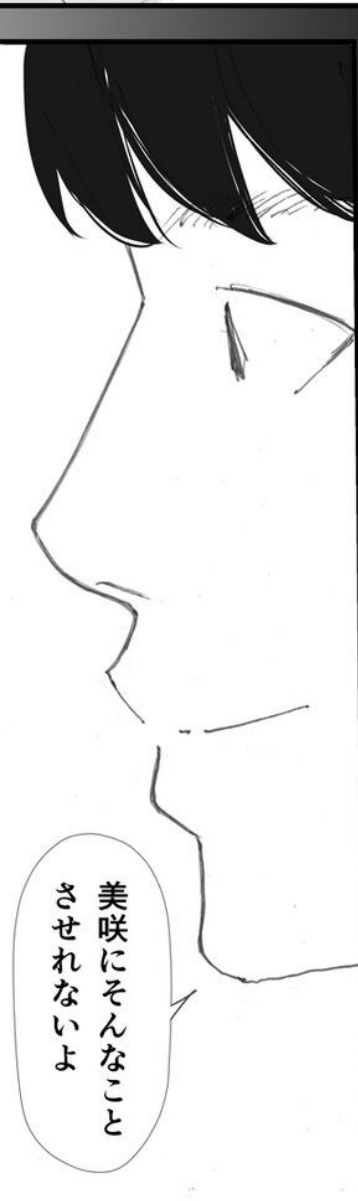


いや、女というより
メスとしてだな

美咲は女としてこれに
支配されるんだからな



目をそらしちゃ
だめだよ



美咲にそんなこと
させれないよ



ただのメス…わたし…
すごい自分を
否定されている…

はむっ



今は、東美咲でもなく、
涼一の婚約者でもない
ただのメスだと思って
しゃぶりなさい



それじゃあ、まるで
美咲のこと道具として
使っているみたいだから



男の人って、
口でされると
嬉しいの？

そうかもしれないけど
美咲にそんなこと
させれないよ



そうなることで初めて
美咲は自分の心の壁を
壊せるんだぞ



おまえは奉仕用のメスだ

ちゅ

ちゅ

涼一と権藤さん…
全然ちがう…

心の壁を壊す…？

ギキ

バキッ

ドクン

でもこれは涼一のため…
涼一のため…

そのためメスになって…
権藤さんに支配されて…

んっ

涼一のため…
ほんとに…

わたしって…
奉仕するのが
似合ってるのかな…

こんな感覚、今まで
味わったことないだろ

でもこういうこと
してる自分がイヤじゃない…

はい…

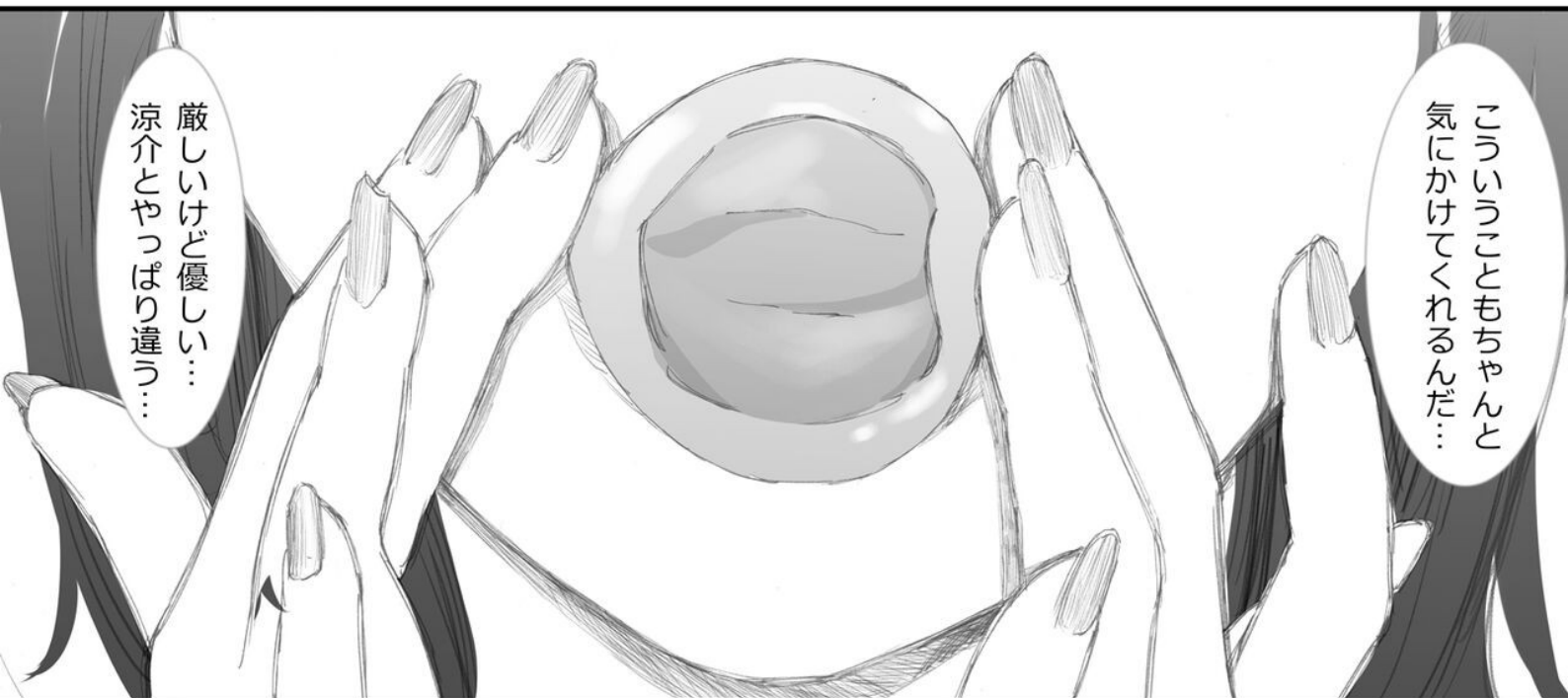


はい…

避妊はとても
大事だからね



口に咥えて
つけてごらん



厳しいけど優しい…
涼介とやっぱり違う…

こういうこともちゃんと
気にかけてくれるんだ…



グッ
グッ



安心できるだろう？

んっ
んっ



口と舌を使い
なさい。自分で
確かめながら…







最近は女らしく
なってる気がする…

お化粧の感じも
今までと違って
色っぽいし



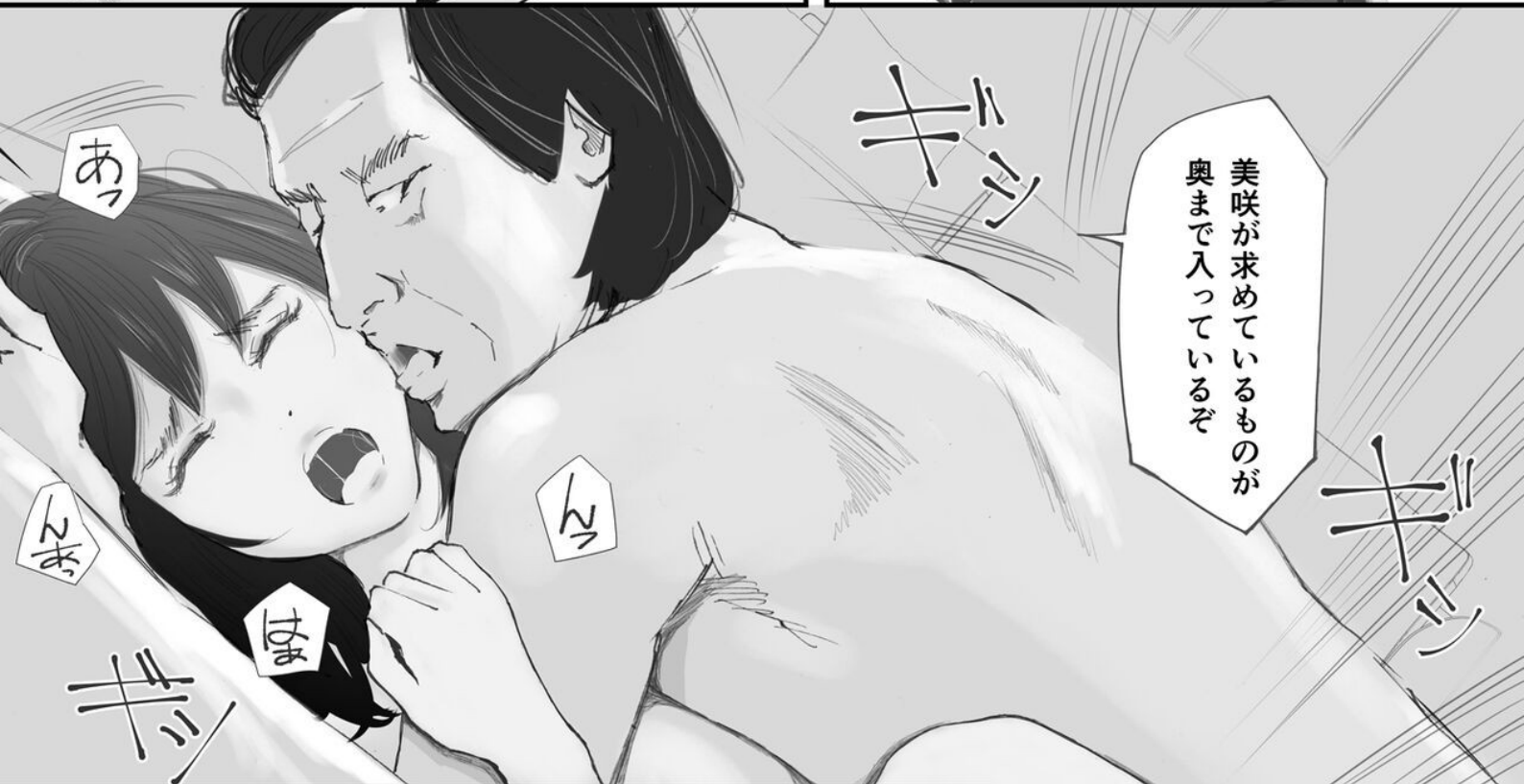
美咲は部長とデートするの
はじめは乗り気じゃ
なかったけど…

部長に嫌なことされ
たらすぐ帰ってきて
いいからね

大丈夫だよ

今はお茶して
食事中なのか
どんな感じが後で教

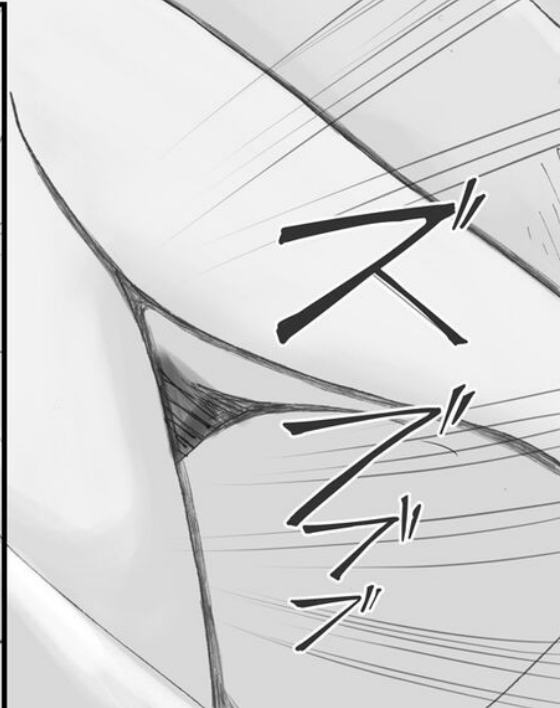
そういえば最近
美咲と外食してない
から今度…

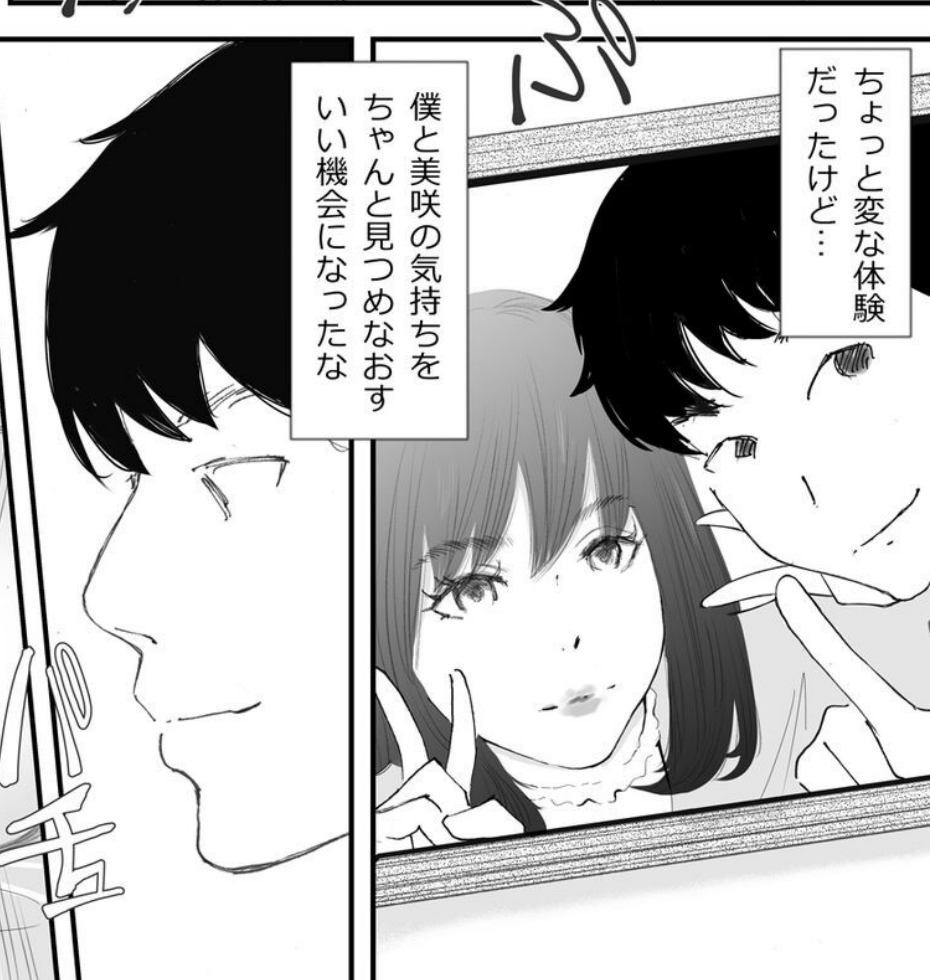


美咲が求めているものが
奥まで入っているぞ

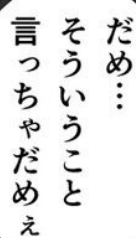


どうしてえ…
涼一とじゃ
だめなのにい…









いやああ

あ





こわ
壊れちゃう

はん

しめえ

あ
あ
あ

ん
あ
あ

これが逝く快感だ
しっかり身体に刻み込め



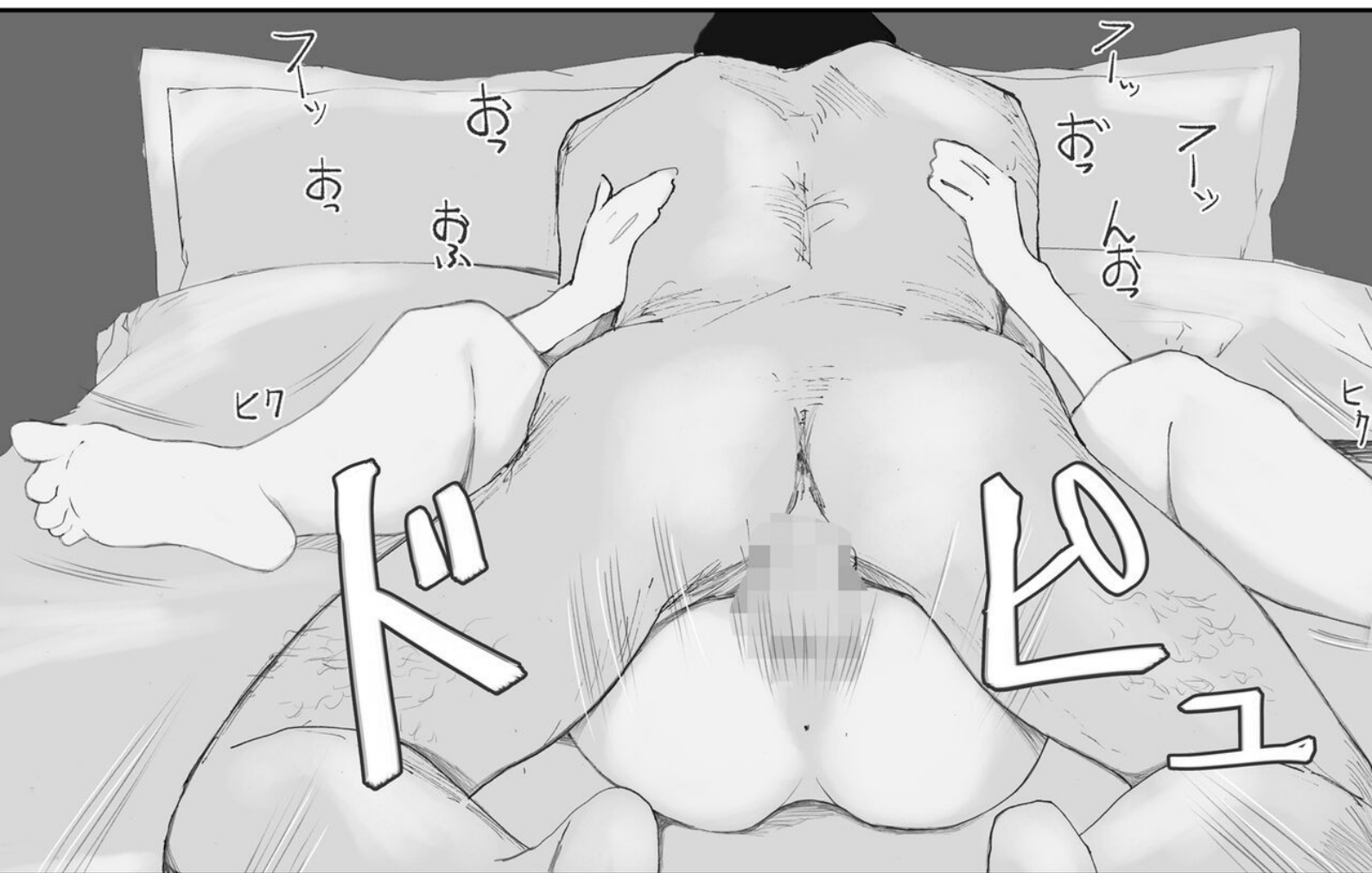
ん
あ
あ

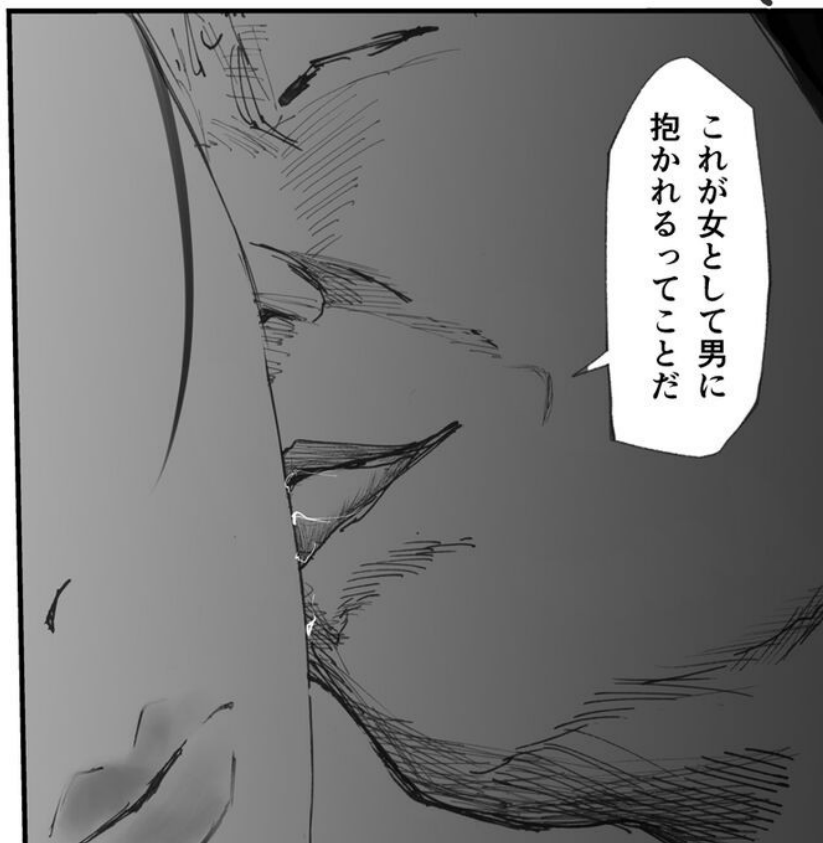
ビク
ン
ビク

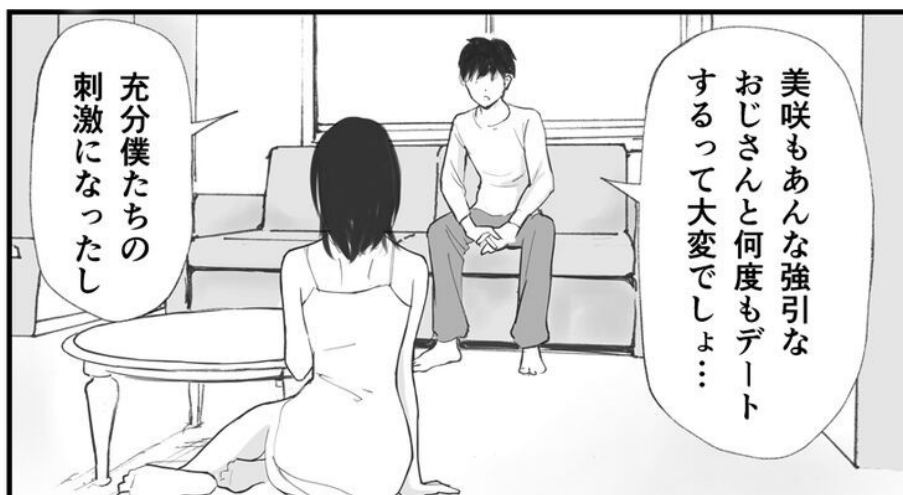
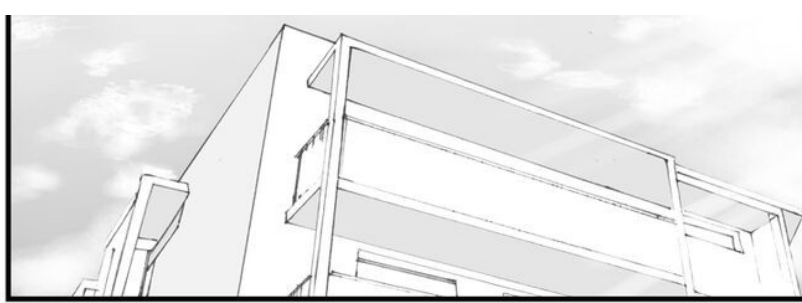
ズ
ブ

ズ
ブ

締め
まり
最
高









わたしはね、もうちょっと
続けたほうがいいと思う



それに…ほら、
わたしたちの将来の
ためだし…心配しないで

嫌ってほど
じゃないよ



今、朝ご飯つくるね…
ってもう昼近いけど！

お腹すいたでしょ？



昨夜も部長は
しつこかったんでしょ

そうなの？
てつきり美咲は
嫌がってるかと
思ってたよ

三カ月後

美咲は部長とのデートについてほとんど話してくれなくなっていた…

涼一 この見積もり
今日中に仕上げ
ておけ

でも最近、すごく
きれいになってるし
お洒落にもなってるから

え…部長
もう五時です
よ…







わたしの気持ち
なんて関係なく…

わたしが決まって
いっちゃう…



集まってきたな
足広げろ

はい



おおー！
超美人だな！

しかも俺好み
の美乳

でもあんなこと
してるって淫乱女
ってことだよな



見られてる...

おお、全部脱いだ！

割れ目も
丸見えじゃん

見られちゃいけないところ
全部見られてる...そして...

あんな人たちに
わたしがどんな
女か決められてる

犯されたがってる
だろ、あれ



美咲は淫乱で犯された
がってる女らしいな

んん

は

は

は

は



は

は

は

は

美咲がどんな女か
勝手に決められてるぞ



穴をお見せ
しながらだぞ

「これから美咲の穴を
犯してもらいます。ご覧くだ
さいませ」とみんなに
お願いしなさい



ほんとのわたしは
そんな女なの...?

は

は

あん

んん

は



終わらないなあ
終電までに間に
合うかな



いつも美咲は寝ないで
待っててくれるし
何とか頑張ろう

これから美咲の
この穴を犯して
もらいます

ご覧ください

クパ





美咲は今日も寝ないで
待ってくれる
んだろっな...
絶対、最高の奥さん
になるなあ





美咲は俺の妻だと思われているみたいだぞ

ん…あ

部長の…
奥さん…?

ん

そろそろ美咲と結婚式の
日取りとか決めたいな

さすがに部長と美咲が会う
のはお終いだよな
部長は文句言いそうだなあ

これで美咲がどう
いう女になるか
決定したな

あ…ん…
気持ちいい…
またいっちゃう…

確かに美咲とのエッチ
はまだちよつとぎこち
ないけど、僕たちらしい
とも言えるし…

ただいま

美咲、遅くなっ
てごめん



涼一：
聞こえてる？

あのね、涼一に伝え
なきゃいけない大切な
ことがあるの



俺からもな



かばい



でね、まず初めに
涼一に感謝したいの…

涼一がわたしの女らし
さを引き出そうとして
くれたことに



わたしが今どこに
いるかわかる？

権藤部長の
部屋に泊めて
もらいました





あなたと一緒にだと
本当の女になれませんか
ごめんなさい…

罪滅ぼしっていうわけ
じゃないけど…せめて
新しいわたしの姿を見てね
見たかったんだよね？

昨夜から俺が使い
倒した美咲のまんこ
すごい濡れてるぞ

ち…ちがう…
そういう意味
じゃないんだ！



感謝してそこで
見てろよ



ぬちゅ

美咲…

ぬちゅ

ぬちゅ



ちがうってなんだよ
美咲がせっかく見せて
くれるんだぞ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ



涼一…権藤さんの
奥まで入ってもね
全然痛くないの

今までお前が
見たことがない
美咲をな

美咲、涼一に
なにか言ってやれ

はぁ♡

はぁ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

ぬちゅ

めん

は♡

んあ

んあ

権藤さん…
せめて…

あん♡

入ってるところ
涼一に見せてあげて
ください

んん

はぁ

は

h
h

おお、そうだな
それぐらいのことは
してやらないとな

涼一、見える？

今までの
わたしと全然ちがう
でしょ

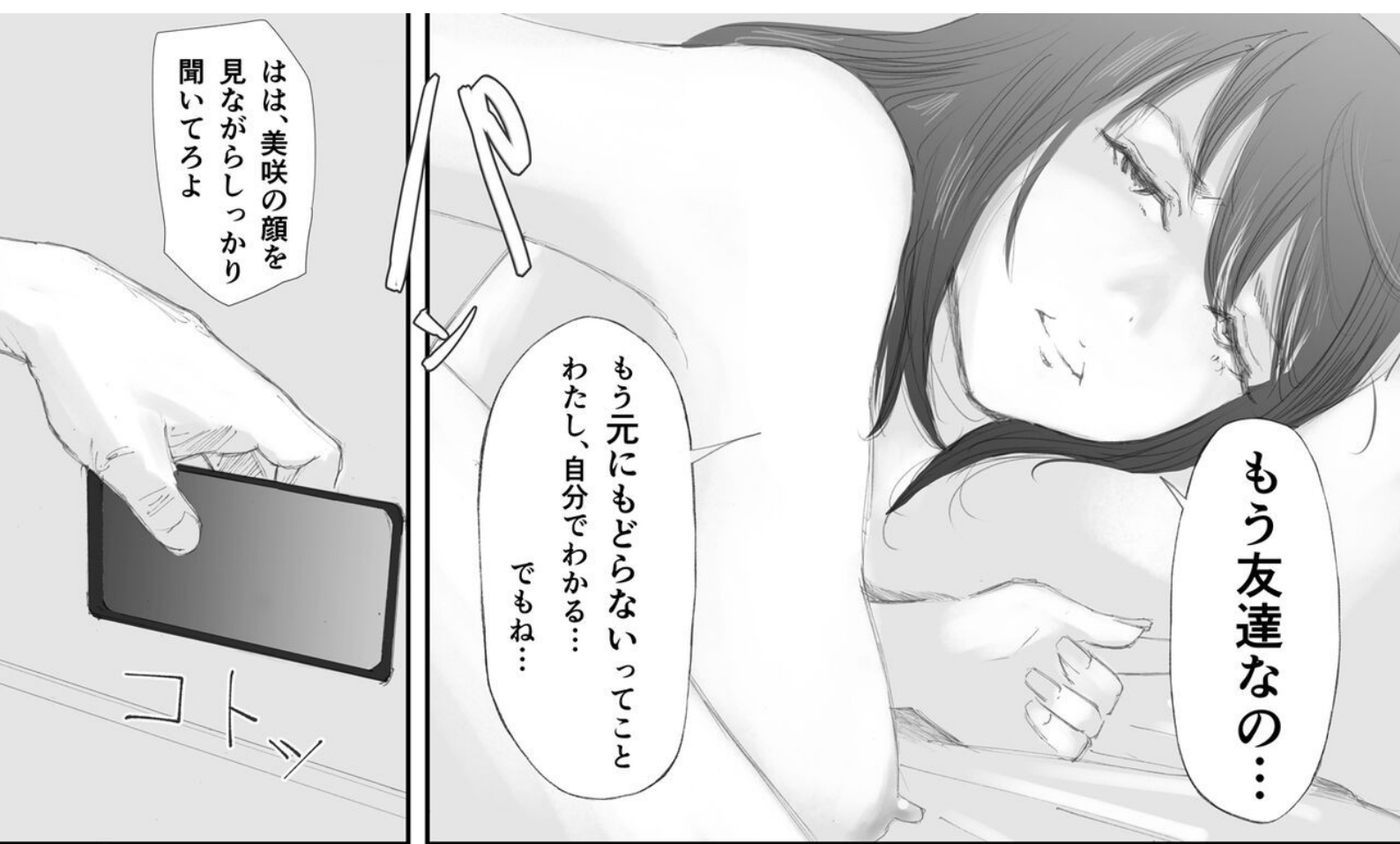
女らしい
感じる？
見れて嬉しい？

美咲！やめてくれっ
僕とそういう風にな
ってほしかったんだ！

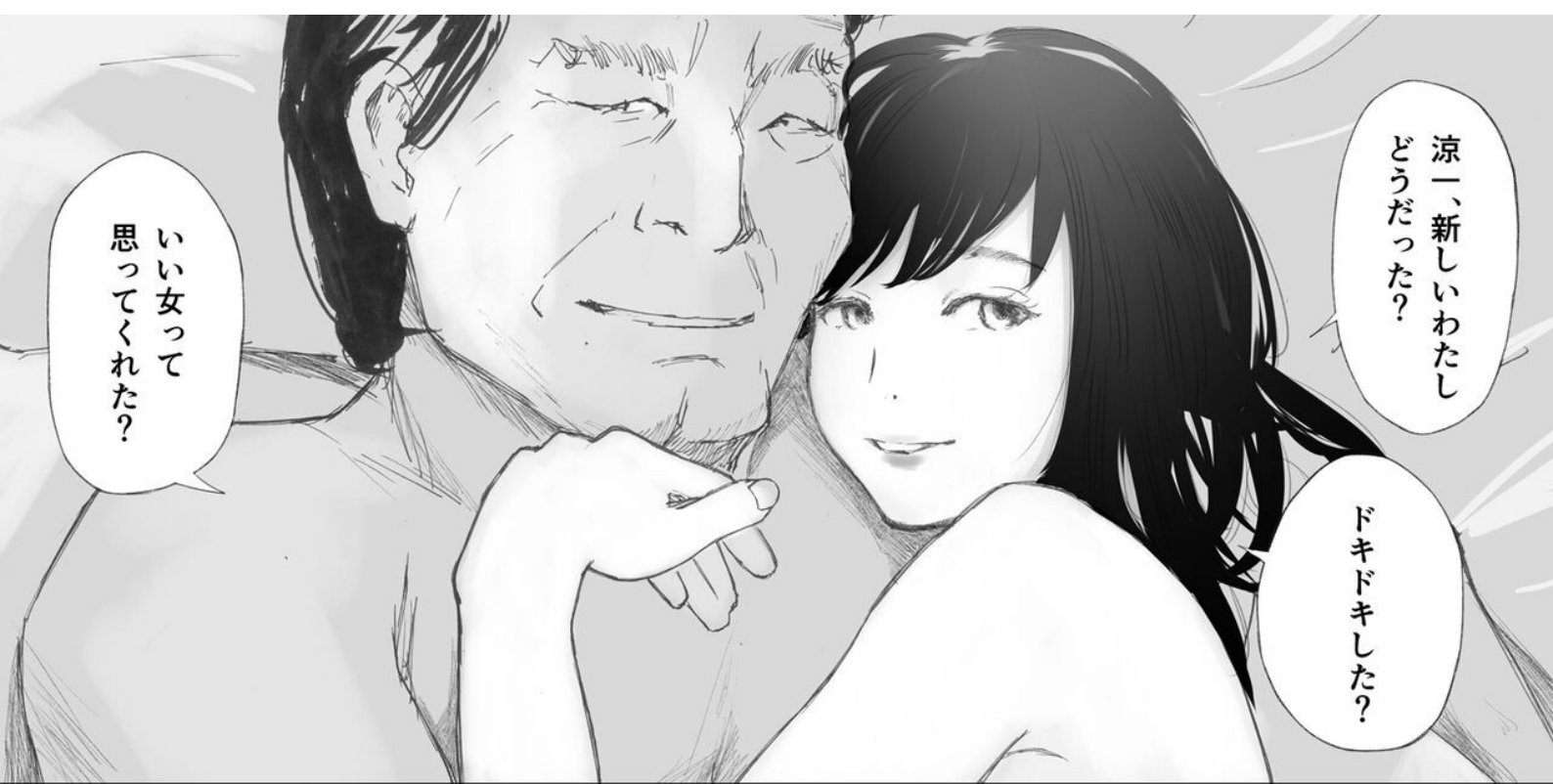
涼一、見える？

ガ
ク









涼一、新しいわたし
どうだった？

ドキドキした？

いい女って
思ってくれた？



わたしはもう涼一の
婚約者じゃないけど

これがせめてもの
わたしからの恩返しなの

涼一とはいっぱい一緒に
時間を過ごしてきたから…
これからも一番の
友達でいてね

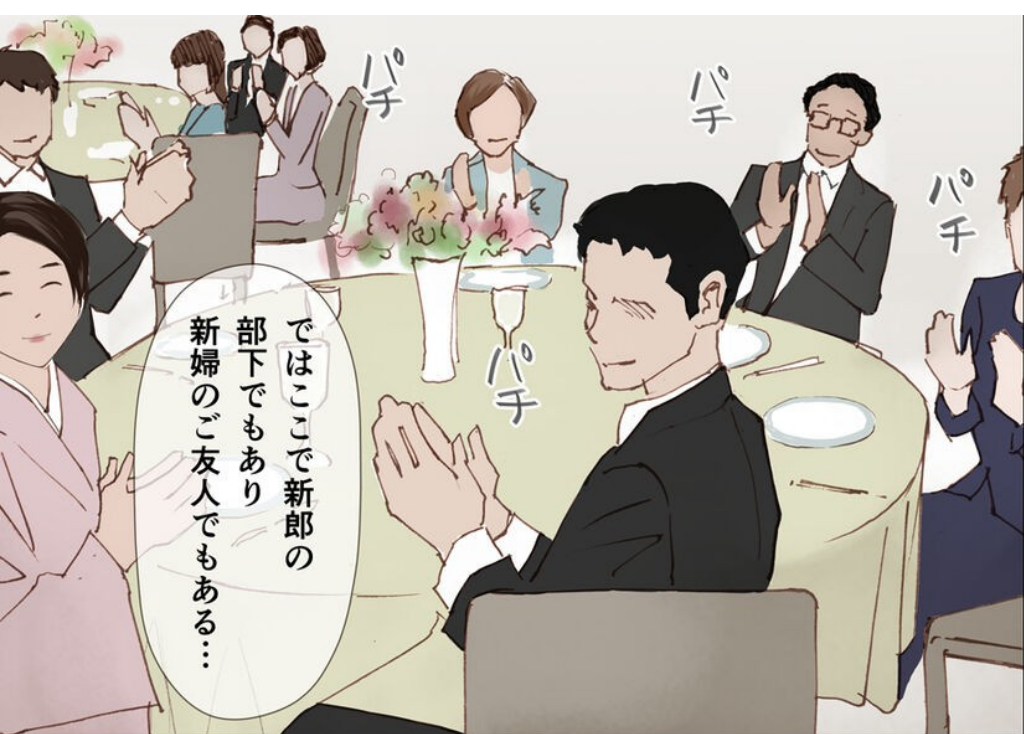


会社もやめるなよ
そんなことしたら二度と
美咲に会えなくなるぞ

やめなければ時々
美咲と会わせてやる
俺の女としてだがな

結局、僕は二人の要求
を受け入れた…

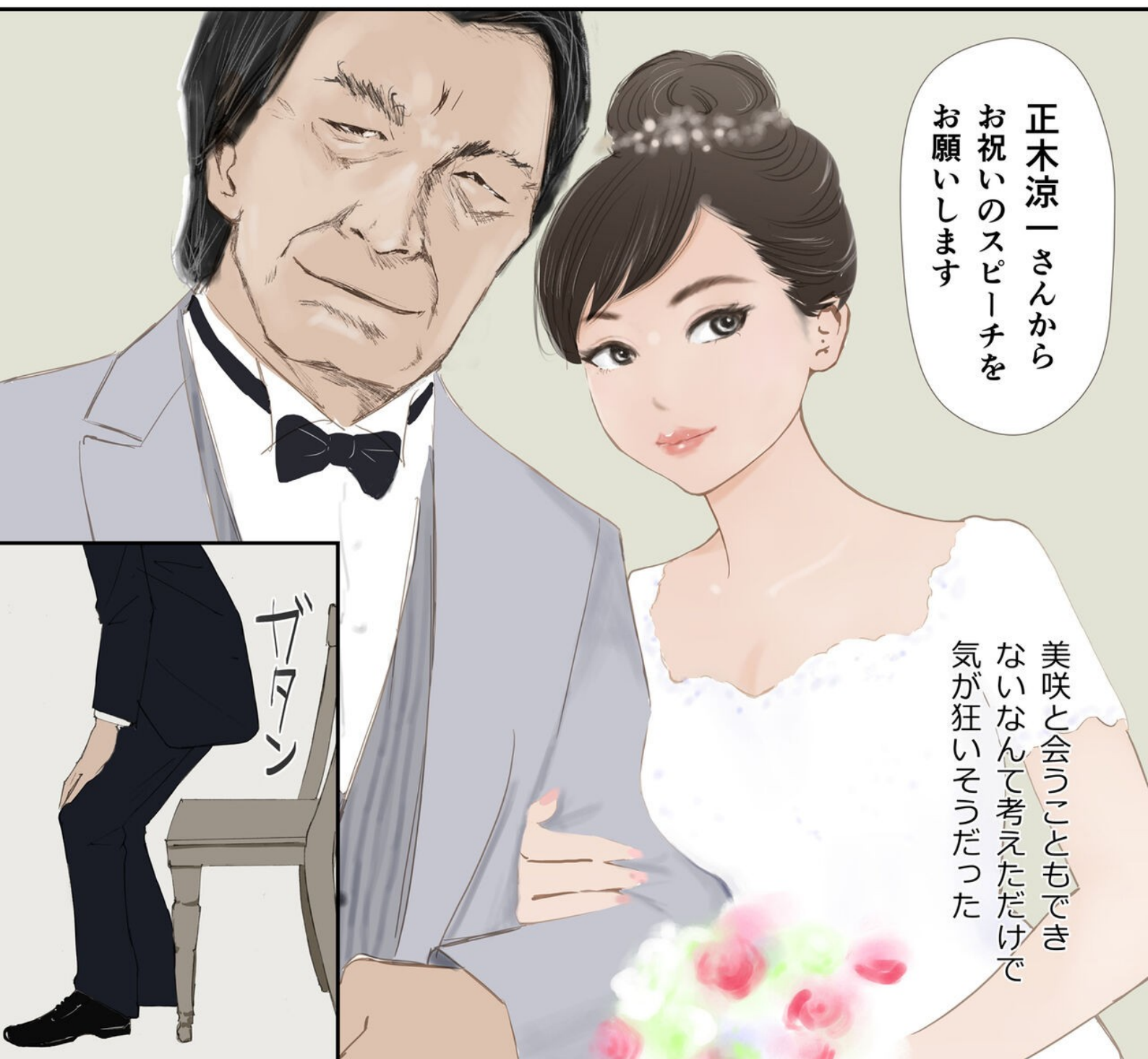
皆様どうぞ、新郎新婦
に更なる祝福をお送り
ください！



ではここで新郎の
部下でもあり
新婦のご友人でもある…

正木涼一さんから
お祝いのスピーチを
お願いします

美咲と会うこともでき
ないなんて考えただけで
気が狂いそうだった





結婚式のスピーチ、涼介にしてもらいたいな





裸なんていつも涼一に見られていたのに
なんか恥ずかしいね

照れてる俺の妻も
可愛いだろ？

もう雄一郎
さんったら



涼一にはわたしたちが夫婦
として初めて愛し合う
姿を見てほしい

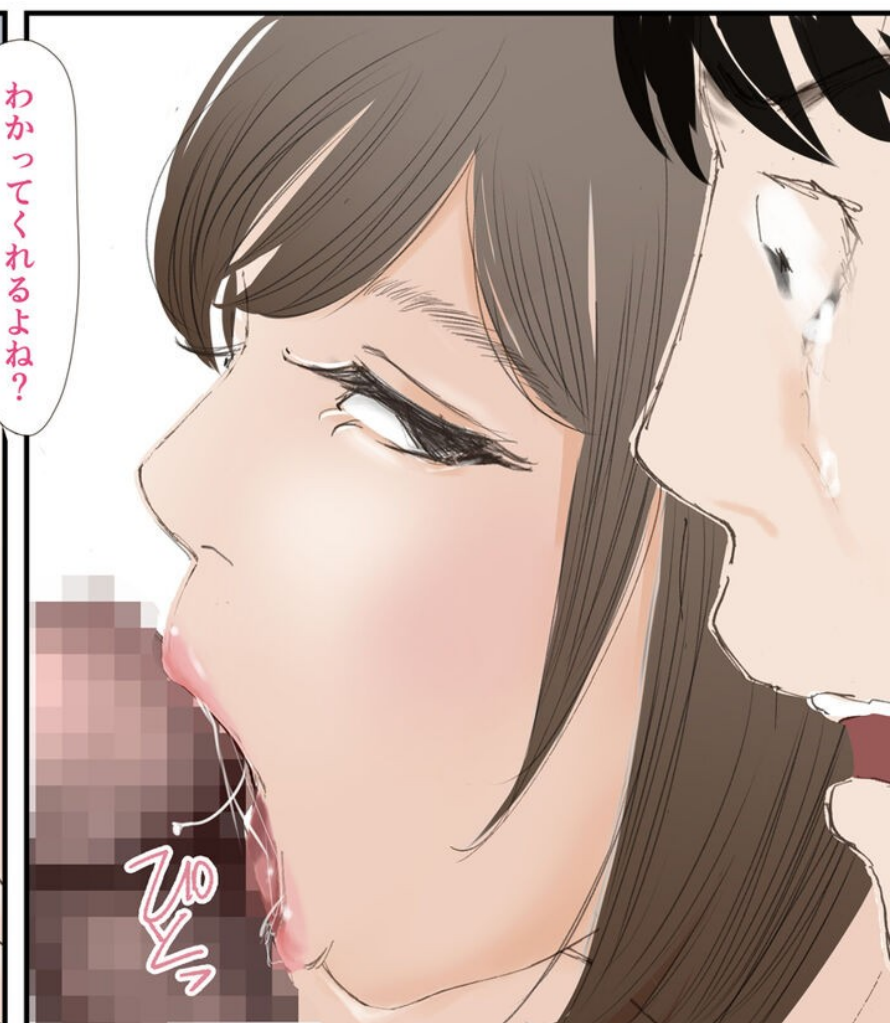
体も心も受け入れ
合ってる夫婦としてのな

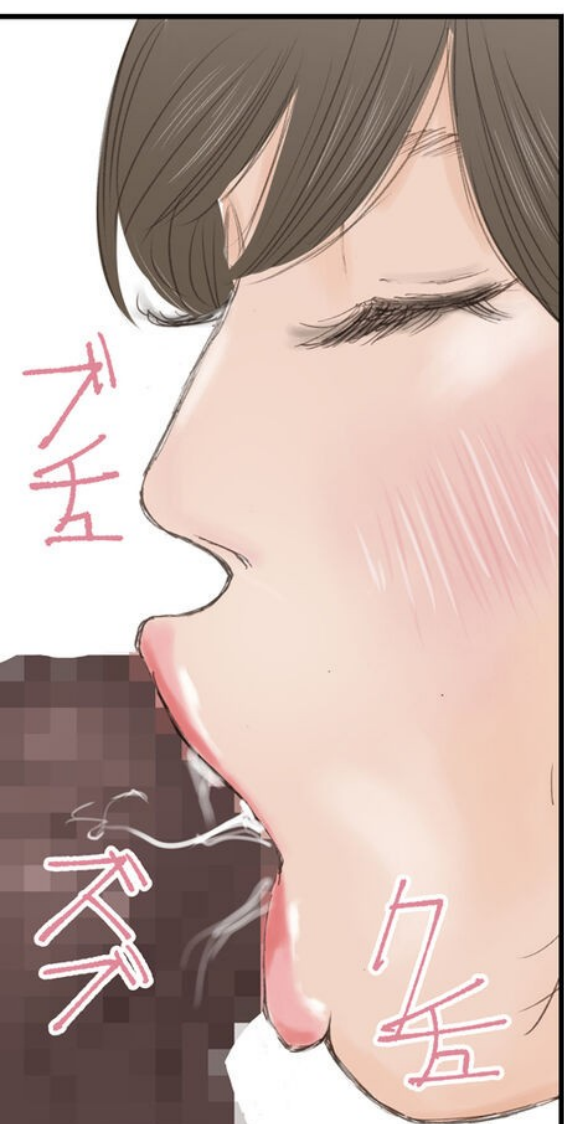
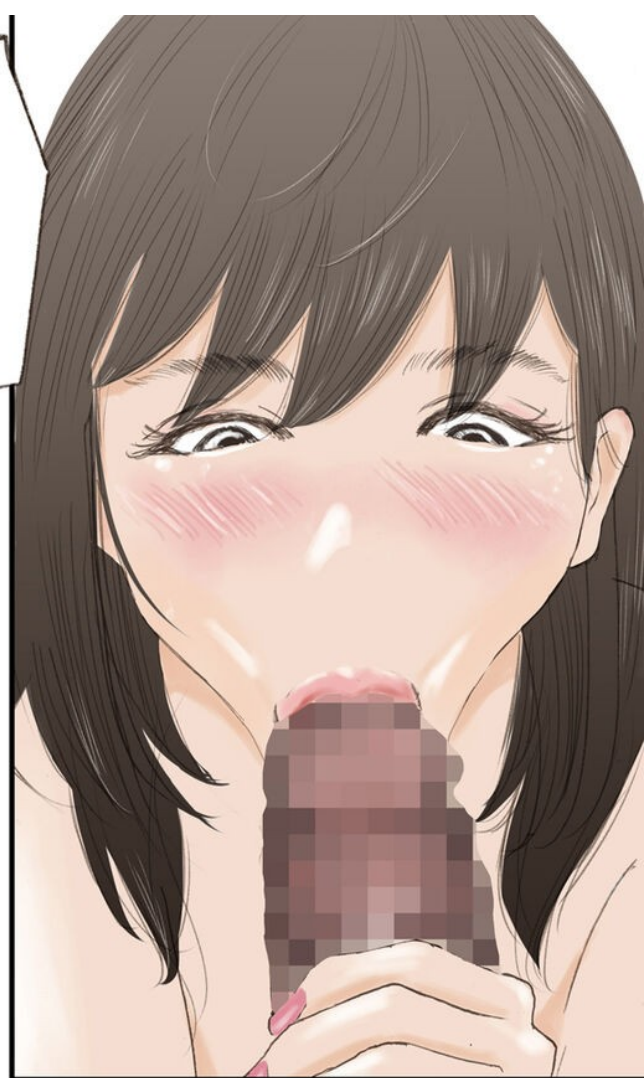


でも運命の夫と会わ
せてくれた涼一は
キューピッドだね！



俺だってお前に感謝してる
からこそ妻のこういう姿を
見せてやるんだからな







おんおんお

ちゃんと受け止めるんだぞ

最高だぞ

ん…ひゃい…

ん♡

ん♡



んおお、涼一、俺の妻のロマンコ…



ううう…



見て見て…すごいでしょ

女としてはね
精子の濃さと量も
大切だって
思うの…

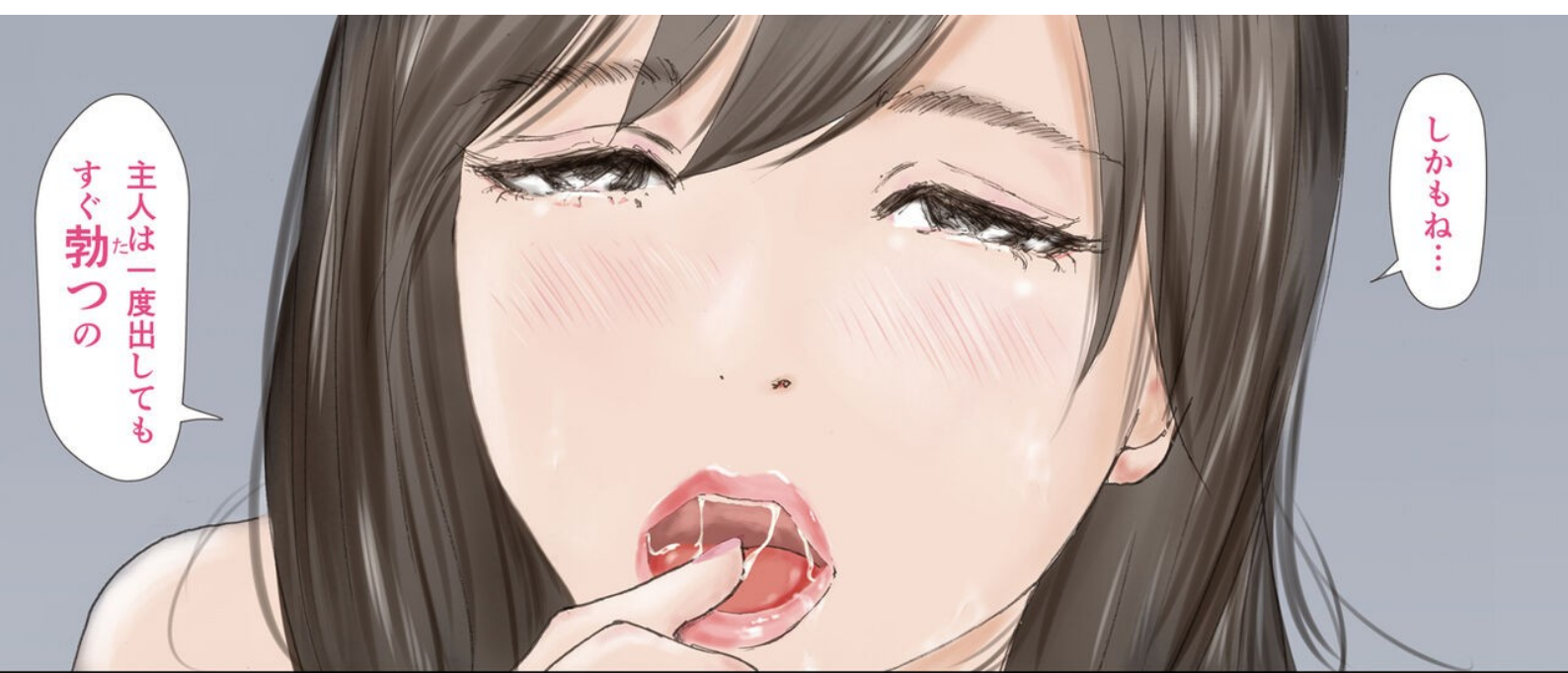
しゅる

しゅる

ロー…

ロー…

やっぱり強い精子で
孕みたいでしょ？



しかもね…

主人は一度出して
すぐ勃つの



アッアッ

でも…
アッアッ

ズル
ズル



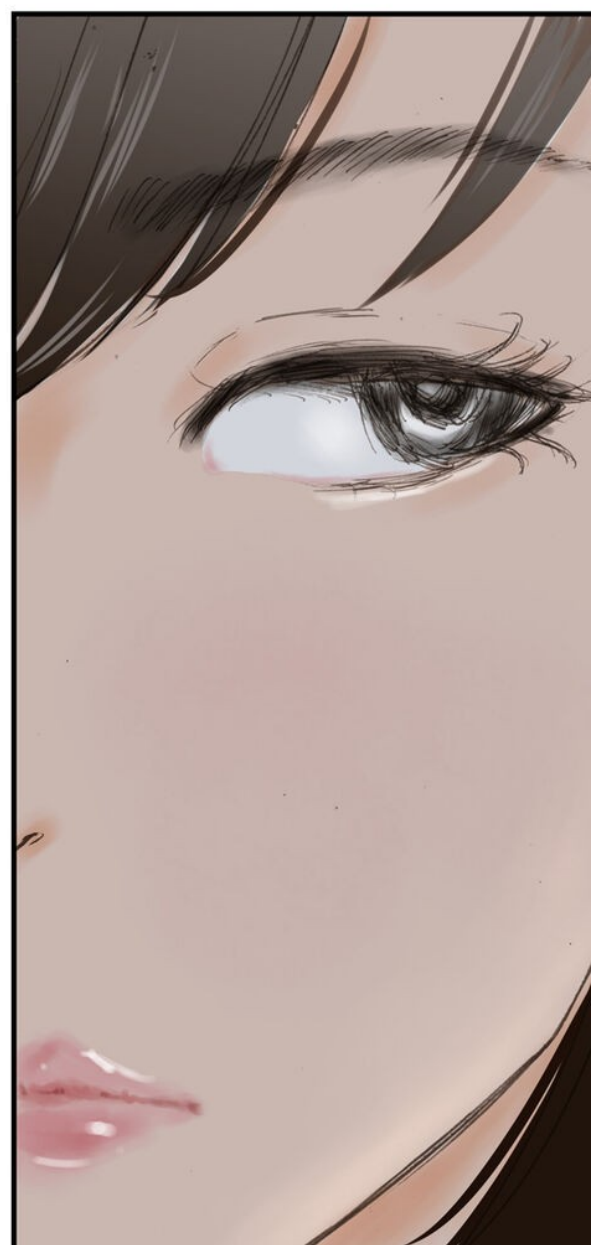
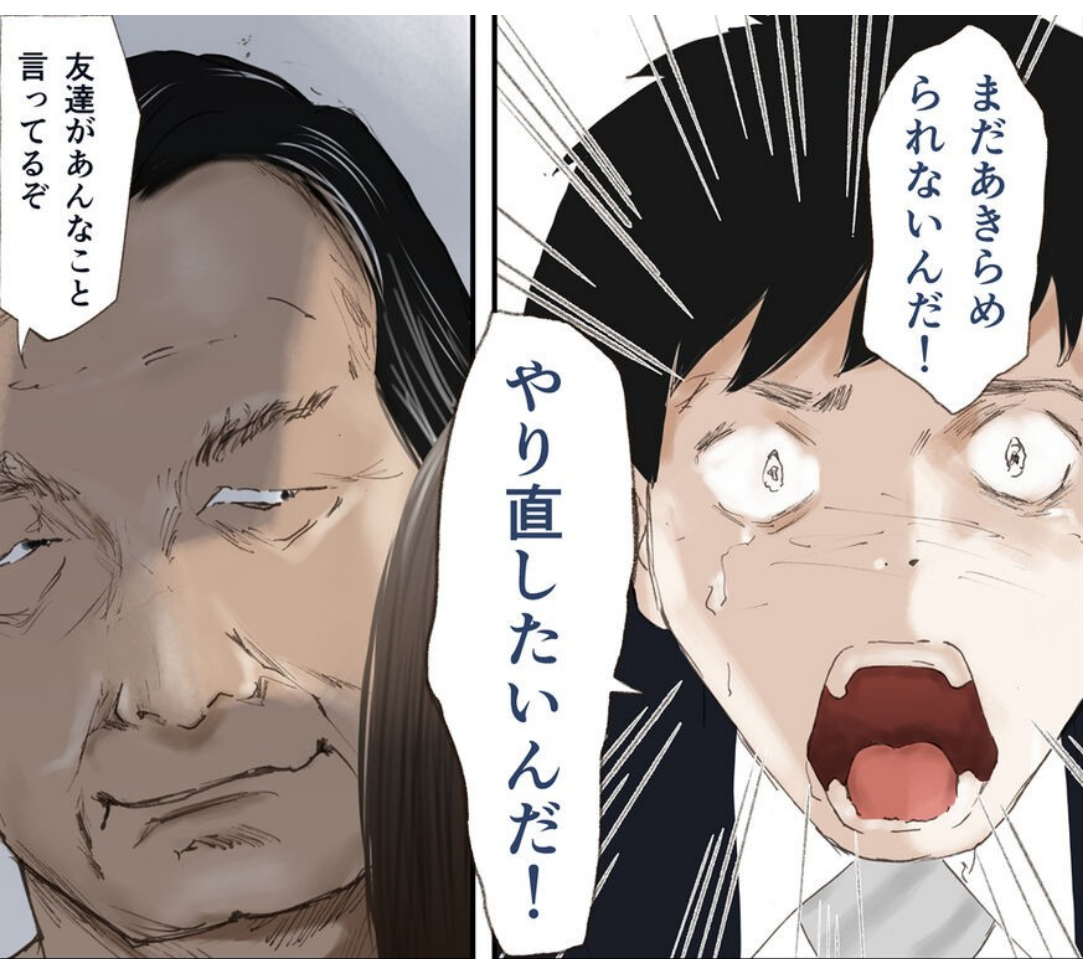
え？
何？

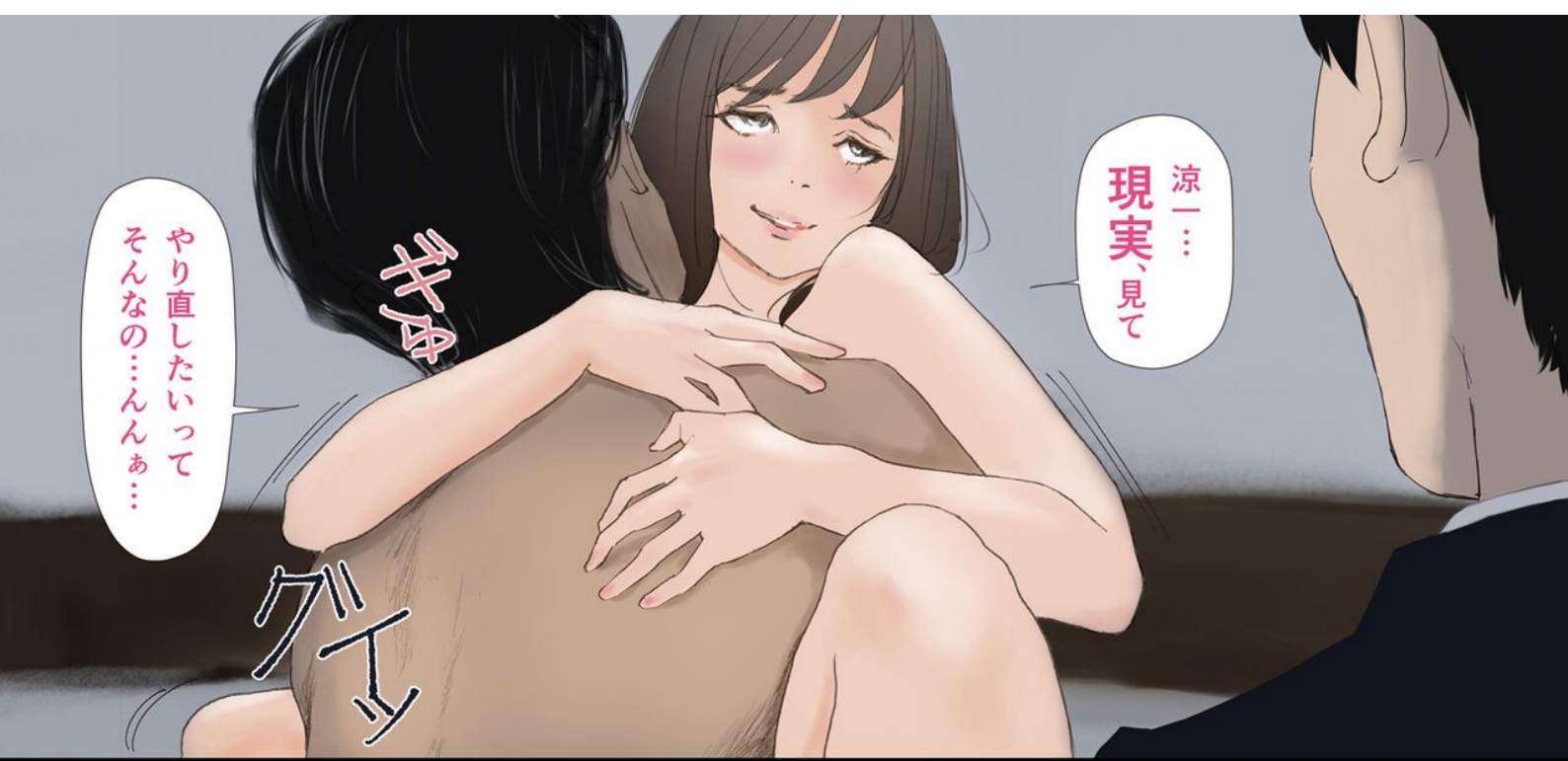
声が小さくて聞こえないんだけど…



それも涼一とは
ちがうよね

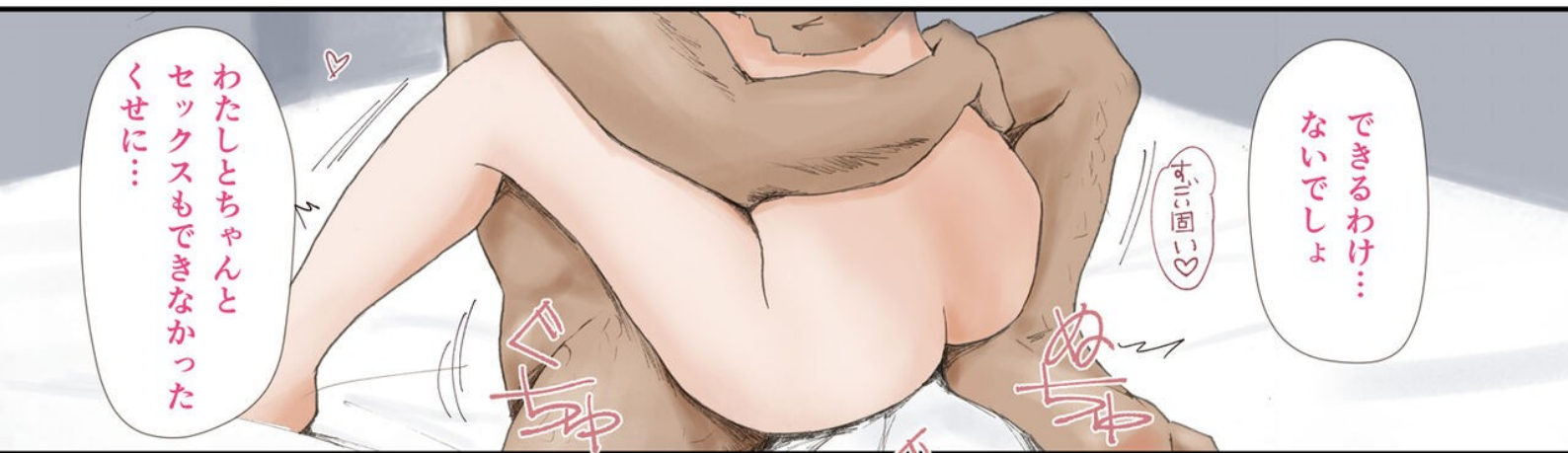
涼一、お前はほんとに
使い物にならないあ





涼一：
現実、見て

やり直したいって
そんなの…んあ…



できるわけ…
ないでしょ

すく固い♡

わたしとちゃんと
セックスもできなかった
くせに…



涼一はオスとして
負けたの

わたしはそのことを
主人に教えて
もらったのよ

あなた、涼一にも
ちゃんとわからせて
あげてください



はは 敗北わからせ
セックスだな。ちゃんと
見てろよ、涼一
夫婦が男と女として愛し合う
姿をな



んあ♡

あぁ

んぐ

んぐ

キーン♡

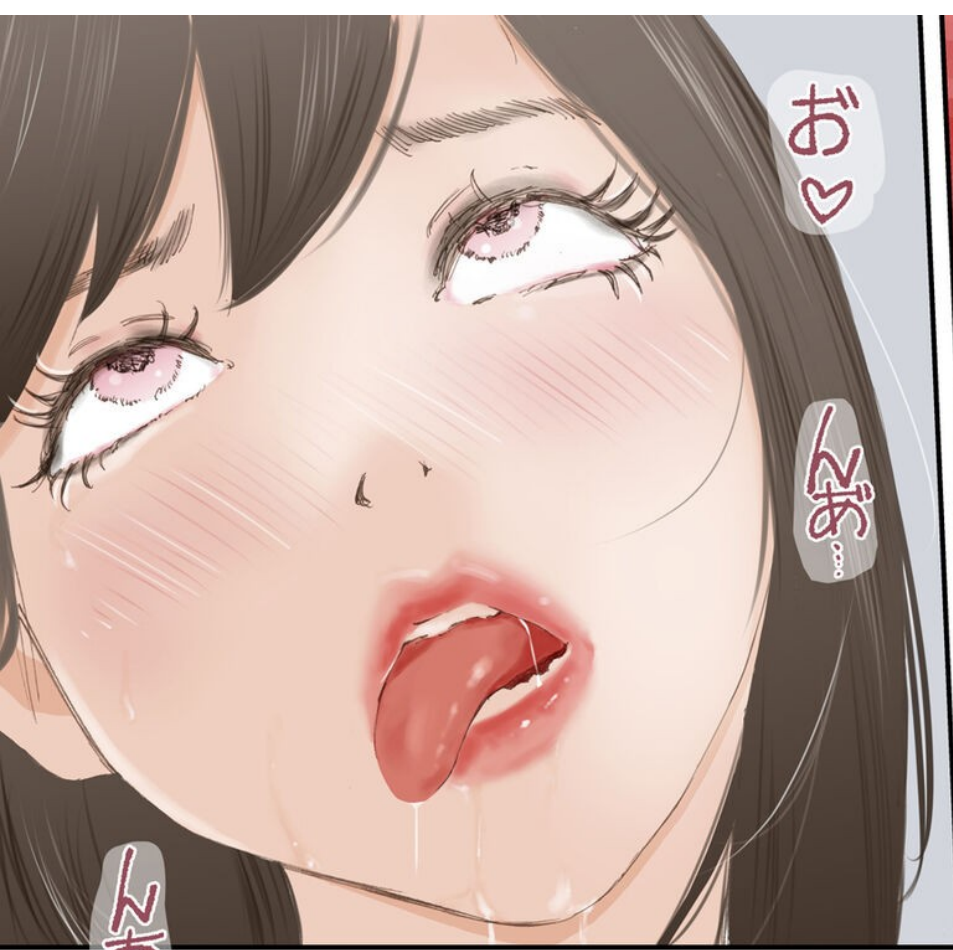
キーン♡

ズ

ズ

ズ

ズ



お♡

んあ...

んあ♡



はあ

あ♡

ん♡

あ♡

あん

あん

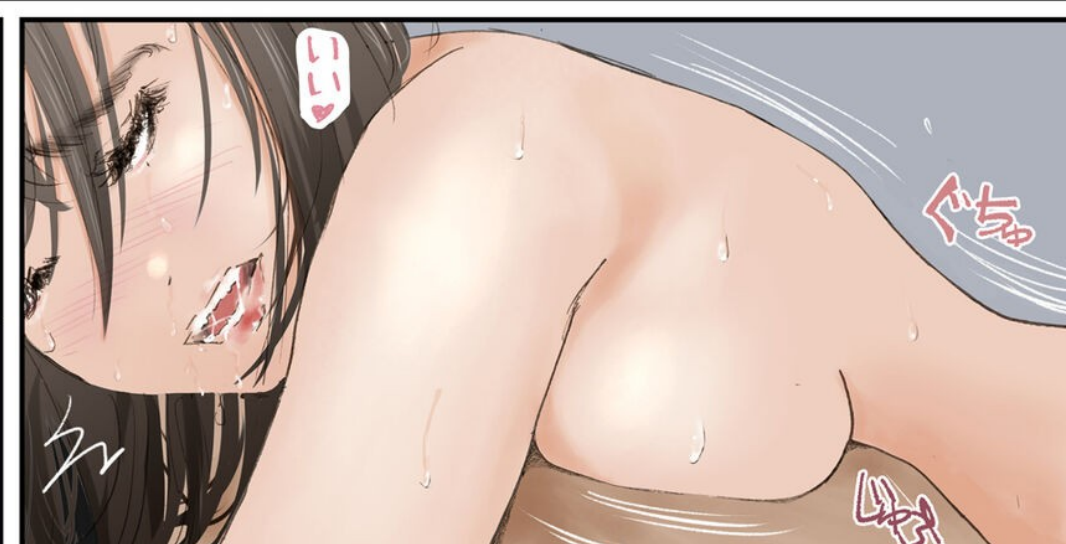
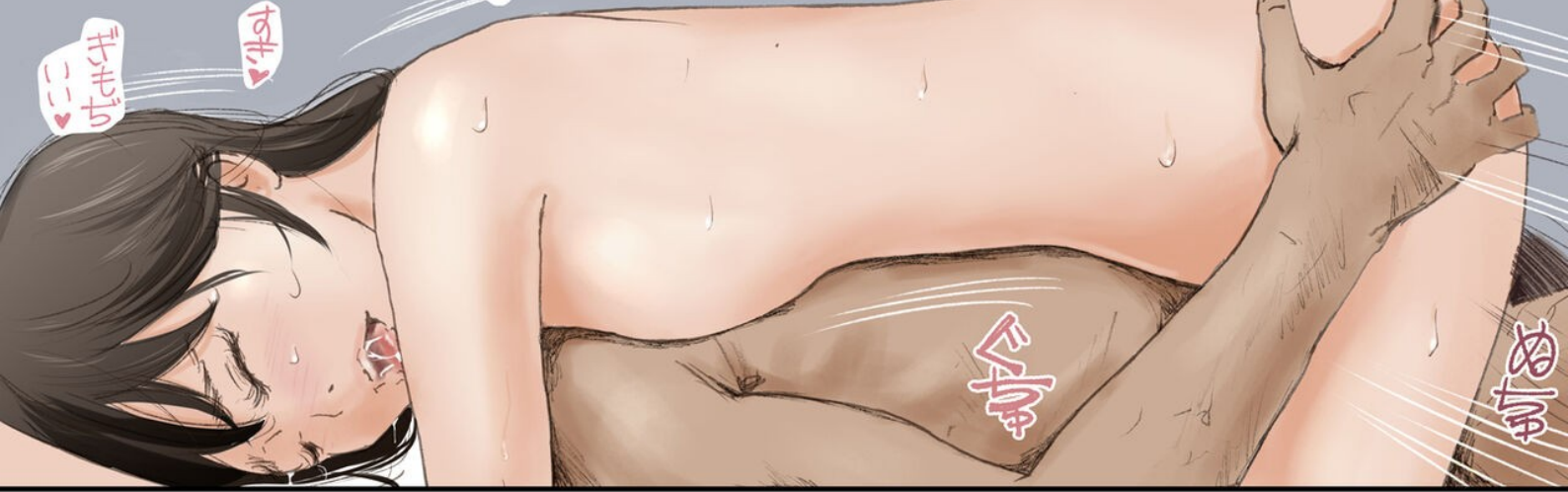
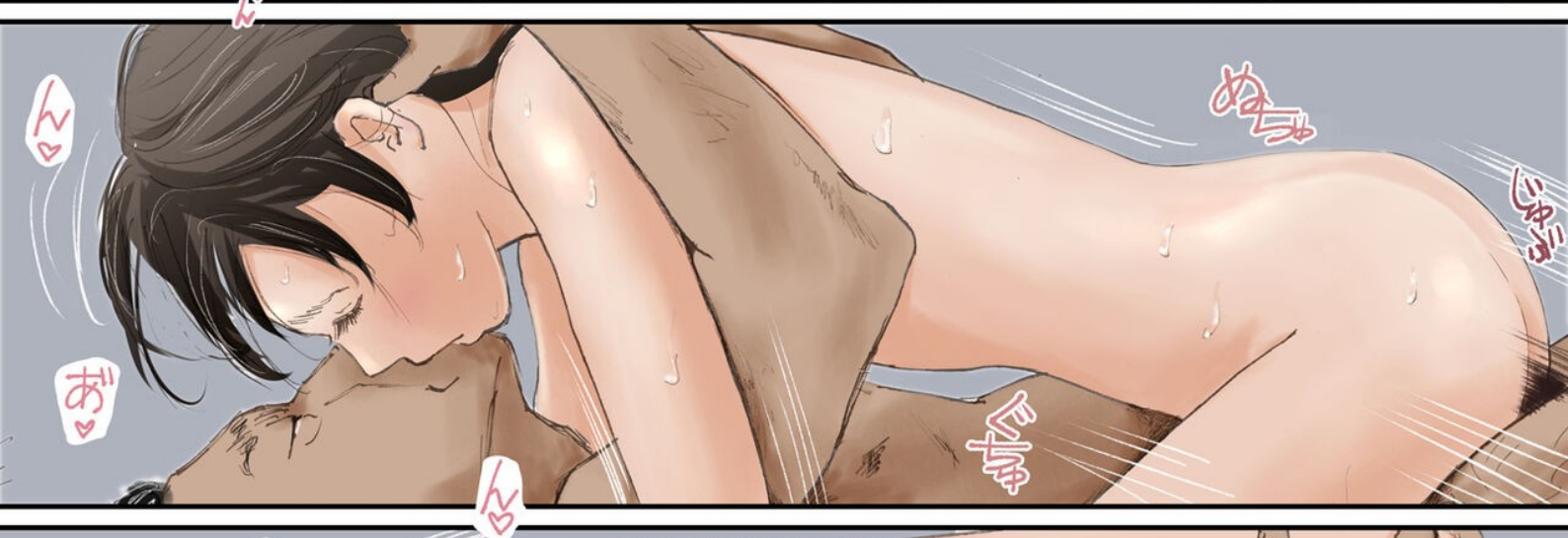
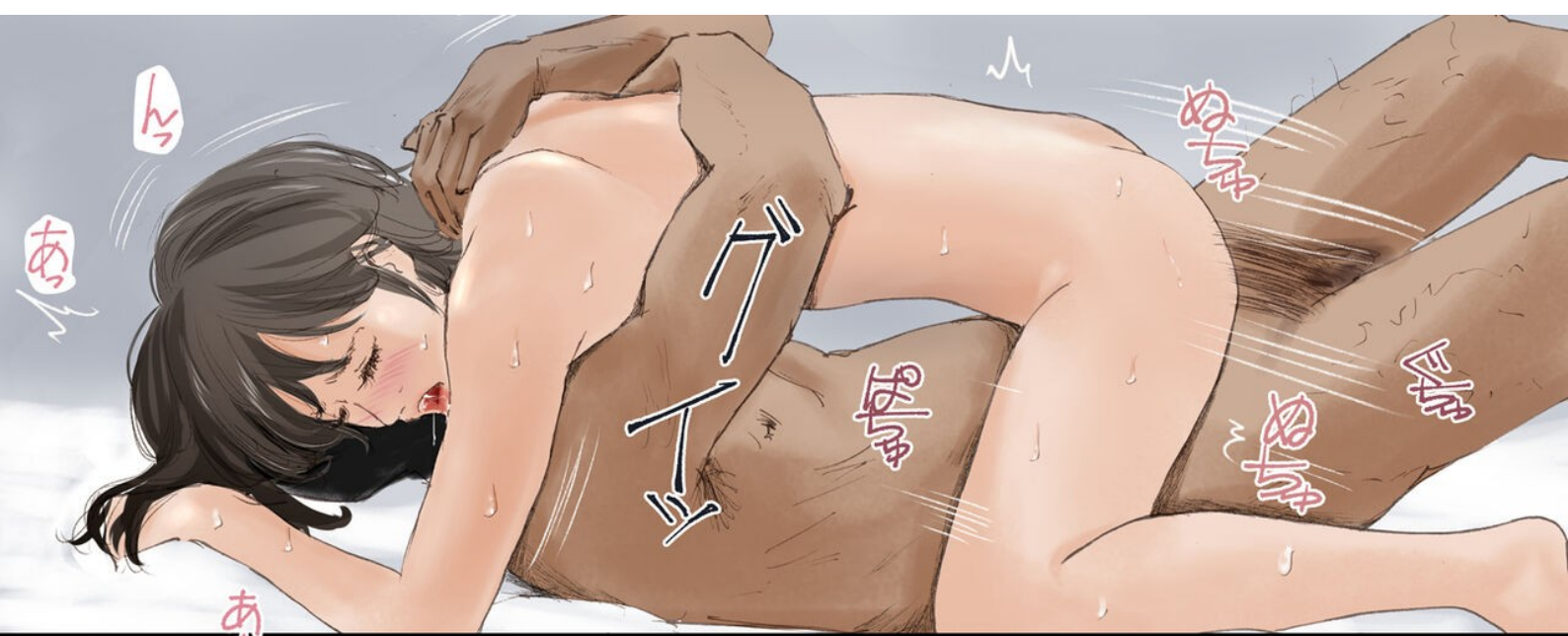
お♡



子宮
まで
届いてるよ

夫の…んん…
すごい…

これでわたしが女だって
わからせてもらったの









END

あ と が き

このたびは本作品をご購入いただきありがとうございます。
楽しんで頂けましたら作者として嬉しいかぎりです。

本作品はサークルとして2作目ですが、今後描きたいと思っているのは
「寝取られ」「寝取らせ」「僕が先に好きだったのに(B S S)」といった
ジャンルです。男性視点を増やしたり、和姦や複数を取り入れることも
考えています。ご興味を持っていただけたら幸いです！

猫目 恋